

2020年度 第1回外部監査委員会報告書

国立大学法人島根大学医学部附属病院の医療安全に係る外部監査委員会規則第3条に基づき監査を実施したので、以下のとおり報告する。

日 時： 2020年9月29日（火） 15時00分～16時55分
場 所： 島根大学医学部本部棟5階 大会議室
監査委員： 二國則昭，大居慎治，大谷 順，坂本達夫

1 2019年度インシデントレポートのまとめについて

資料に基づき説明を受け、以下の確認をした。

- 一 報告件数の増加について
- 二 インシデントレポートの入・出力方法について
- 三 3b以上の閲覧制限について
- 四 転倒転落発生時の対応について
- 五 インシデントレポートの院内周知について

2 患者からの苦情対応について

資料に基づき説明を受け、以下の確認をした。

- 一 苦情対応のフローについて
- 二 苦情相談実績について
- 三 苦情の院内周知について

3 働き方改革への対応について

資料に基づき説明を受け、以下の確認をした。

- 一 医師の働き方改革への対応について
- 二 勤務時間管理について
- 三 看護師の特定医療行為について

委員から、根底にあるのは医師がやらなければならない仕事が多過ぎること、医師の周辺の職種の方々がカバーしていくことが肝要であるとの意見が出された。

さらに、医師の業務負担軽減のためにはタスク・シフティングを行い、医師の代わりの仕事をする看護師の養成が必要であり、大学・教育機関としてお願いしたいとの意見が出された。

4 次回の監査について

次回の外部監査委員会に、下記の資料を提出するよう要請した。

- 一 インシデントレポートの分析結果の報告「転倒時発見状況別の調査」について
- 二 前年度の重大インシデントの報告について
- 三 医療事故調査委員会への報告事例のまとめについて(過去分も含める)

2020年10月29日

島根大学医学部附属病院の医療安全に係る外部監査委員会
委員長 二 國 則 昭